

I support LGBTQ, Diversity, Equity and Inclusion.



LGBTQを含めたすべての子どもが ありのままで大人になれる社会へ

団体名には「少しずつ(Bit)」を「何度でも(Re)」繰り返すことにより社会が前進してほしい、という願いが込められています。

<ご寄付のお願い>

ReBitの活動をより一層広げるために、ご寄付をお願いしています。
いただいたご寄付はReBitの運営や活動に用いられます。

●継続的に支援する(にじいろバトンのメンバーになる)

<https://rebitlgbt.org/support/nijiirobaton>



●今回だけ寄付する

(web) https://rebitlgbt.org/support/oneoff_donate

(お振込) 三井住友銀行 武蔵境支店

普通預金 0596883

特定非営利活動法人ReBit

※トクヒ)リビットと表示されます



認定特定非営利活動法人ReBit

代表理事 薬師実芳

設立 2009年12月1日(2014年3月3日に法人格取得)

住所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-26-2

新宿カメヤビル4階

電話/FAX 03-6278-9909

●メールアドレス info@rebitlgbt.org

●ホームページ <https://rebitlgbt.org>

●Twitter @Re__Bit

●Instagram @re__bit

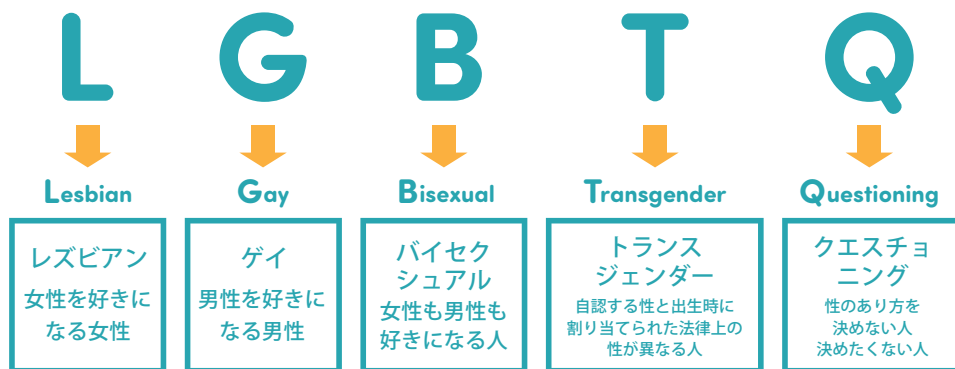
●Facebook <https://www.facebook.com/Re.Bit.LGBT/>



LGBTQ とは？

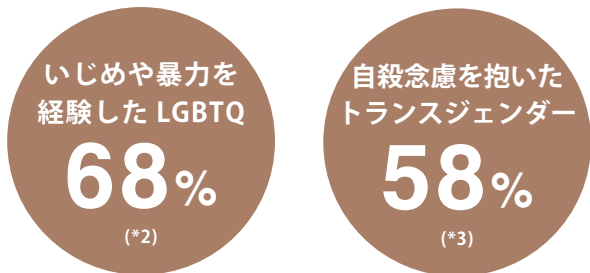
国内の調査ではLGBTQは約3～10%いるといわれています(*1)。

5つの頭文字からなり、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)を指す言葉としても使われます。この他にも多様なセクシュアリティが存在します。

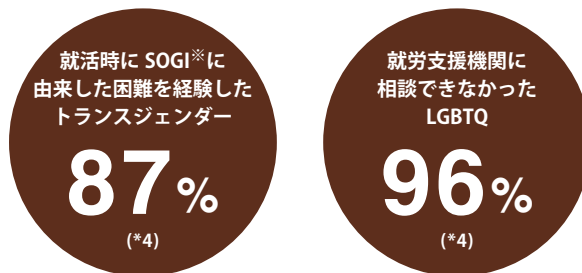


LGBTQ の子ども・若者の現状

学校生活での困難



就職活動での困難



※性的指向や性自認

ReBit が取り組む事業

教育事業

- 1 授業/研修**
学校/行政等で、子どもや教職員/行政職員等へ多様な性に関する授業/研修を1200回、15万人以上に提供。
- 2 教材制作**
行政/出版社等と共に、多様な性についての書籍/映像等の制作。
書籍:『LGBTってなんだろう? :自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性』(合同出版) 『ふつうってなんだ?ーLGBTについて知る本ー』(学研プラス)
教材:「中学校版Ally Teacher's Tool Kit」「小学校高学年版Ally Teacher's Tool Kit」(2019年度グッドデザイン賞受賞)
- 3 講師育成/教員応援**
先生のためのLGBTQに関するオンライン情報サイト (<https://allyteachers.org>) や、オンラインコミュニティの運営。



キャリア事業

- 1 キャリア支援/イベント運営**
LGBTQのキャリア支援を、5000人以上に提供。
また、ダイバーシティと就労に関する国内最大級のキャリアフォーラム「DIVERSITY CAREER FORUM」を開催。(後援:厚生労働省、文部科学省、他。出展企業50社以上)
- 2 就労移行支援(障害福祉サービス)**
LGBTQは精神障害における高リスク層。一方で、福祉サービス利用時に76%がSOGIに由来した困難を経験(*5)。
国内初、精神・発達障害があるLGBTQを主対象とした、就労移行支援事業所※「ダイバーシティキャリアセンター」を東京都に設立。 ※障害がある人の就活支援をする福祉サービス
▼<https://diversitycareer.org>
- 3 企業・行政研修/コンサル**
LGBTQやダイバーシティについての企業研修を年間約100回実施。
また、職場制度やガイドラインづくり、商品開発等に関するコンサルテーションを実施。
- 4 就労支援者育成/資材制作**
就労支援者や福祉従事者等に向けた、研修や資材作成、オンラインコミュニティを運営。



(*1)「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム(2019)「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」ではLGBTがTが2.7%、LGBTが3.3%、「決めたくない・決めていない」を含めると8.2%。日本労働組合総連合会(2016)「LGBTに関する職場の意識調査」ではLGBT等(性的マイノリティ)当事者が8.0%。株式会社LGBT総合研究所(2016)「LGBTに関する意識調査」ではLGBTが5.9%。LGBTを含めたセクシュアルマイノリティが8.0%。電通ダイバーシティラボ(2018)「LGBT調査2018」ではLGBTを含む性的少数者(セクシュアル・マイノリティ)が8.9%。日高庸晴・三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」(2018)「多様な性と生活についてのアンケート調査」ではLGBTQが10.0%。若手県高校教育研究会学校保健部会・いわて思春期研究会(2013)「高校生の性と性に関する調査」ではセクシュアルマイノリティが10.1%などがある。
(*2)いのちの扉・ホワイトリボン・キャンペーン(2014)平成25年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」
(*3)中塚幹也(2017)『封じ込められた子ども、その心を聴く:性同一性障害の生徒に向き合う』ふくろう出版 (*4)認定特定非営利活動法人ReBit(2019)「LGBTや性的マイノリティの就職活動における経験と就労支援の現状」
(*5)認定特定非営利活動法人ReBit(2021)「精神・発達障害がある性的マイノリティの就職活動に関するアンケート」